

| | | | |
|--|---|---------|---------------------------|
| 調査団体名 | NPO法人山里文化研究所 | 団体代表者名 | 清藤奈津子 |
| 設立年 | 2003年 | 団体URL | http://www.yamazato4.com/ |
| 活動地域 | 中津川市、恵那市、篠島 | 調査員 | 杉野 |
| 取材日 | 2009/11/18 | レポート作成者 | 杉野賢治 |
| 聞き書きで伝える山里の文化 | | | |
| <p><活動内容></p> <p>1) 都市と山村の交流事業:山里暮らし塾<棚田石積み塾、炭焼き、味噌作り、こんにゃく作り、かまど(煙道)作り>、山里ふあんくらぶ<農的暮らしをテーマに、山里でゆったりした時間を楽しむ>、ぼっちゃんふあんくらぶ<次世代のカッコいいぼっちゃんを目指す></p> <p>2) イベント主催</p> <p>3) 山村に暮らす先輩たちの思いや知恵を、きちんとした形(本)で残すこと:聞き書き、「聞き書き塾」の出前開催・運営人と関わるプログラム、森林と関わるプログラムの両方を柱としながら、山里力を発揮する方向へ導く。</p> | | | |
| <p><会のモットー(何を大切にしているか)></p> <p>見守るだけでなく、関わっていく。</p> | | | |
| <p><設立から現在に至るまでに変化したこと></p> <p>最初は森林環境教育からスタート。愛知万博が終わってから、山里の文化を継承していくことにウェイトを置く。</p> | | | |
| <p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>恵那市林業振興課、農業振興課</p> | | | |
| <p><今までに行った調査・研究></p> <p>聞き書き:恵那市北部(中野方)、恵那市南部(奥矢作)、篠島</p> | | | |
| <p><現在直面している課題></p> <p>人材の確保、人材確保に伴う経費。拠点施設が欲しい。</p> | | | |
| <p><今後やってみたいこと></p> <p>日本中でこれ(聞き書き)が始まるきっかけづくり。当研究所理事である、聞き書き甲子園を主催する渋澤寿一氏の働きにより、全国的な運動になってきている。田舎のじっちゃん、ぼっちゃんたちは本当によく働く。ものすごい知恵を受け継いでいる。日本人の文化そのものであり、どうしても継承すべきだと認識している。それを楽しく、そして知恵を学べる場をつくりたい。</p> | | | |
| <p><そのためにはどんな情報・人脈が必要か></p> <p>つなげてくれる人の発掘</p> | | | |
| <p><チームオリジナルの質問></p> | | | |
| 質問内容: | 流域とどんな関わりを? | | |
| 答え: | <p>今は恵那を中心に行っている(中野方から岩村までは木曾川流域)。山から海までつながりを広めたい。そのために、篠島での聞き書きをしている。昔なら当たり前だったことが消え去ろうとしている。</p> <p>昔を懐かしむだけでなく、環境問題を真剣に考えなくてはならない今こそ、昔の暮らし方・生き方を学ぶときである。川上に住む山の衆たちは、川に汚いものを流したりしなかった。そんな流域全体の関わりを、山里文化を残すことによって、広く市民に伝えたい。</p> | | |

<その他、伝えたいこと>

日本では、都市から少し離れれば森のまにまに里が点在する風景が見られる。青々とした水田を中心に、路傍の草花や小さな畑、果樹園や用水のある美しい山里は、人のたゆまぬ働きによって保たれていることに思いをはせる人は少ないかもしれない。

「美しい」と感じられる山里風景をつくるためには、手入れが必要であった。しかし、昔は手入れのために手入れしていたわけではなかった。肥料にするために草を奪い合うように刈り、竹や雑木を生活資材や燃料にし、茶・梅・果樹、たんすをつくる桐、仏様に供える花を自家供給した。そうしなければ暮らせないという必要に基づいた営みが、山里風景の美しさをつくってきた。

人が生き生きと暮らしを営んでいる山里は美しく安らかだ。そこに学び、与えられること。山里の人との関わりの中で守り、生み出すこと。小さな取り組みを重ねながら、考えていきたい。そして山里の美しさと安らかさは、住む人だけでなくすべての人の大切な財産であることを伝えていきたいと考えている。

～2003. 5. 15 山里文化研究所設立にあたって～ 代表 清藤奈津子

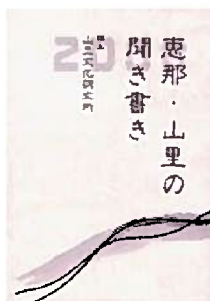
清藤さんは、森林インストラクターの資格を持ち、その人柄で幅広い人脈と仲間に恵まれている。

この殺伐とした世界観や、荒涼とした人間関係、未来を憂いなくなるような子どもたちの態度など、マイナス要因を変えていく方法の一つが田舎の知恵を授かり、それを身につけていくことであろう。自然に生かされ、人間も動物の一種に過ぎないと自覚できたとき、都市が抱える様々な問題を解決する糸口になるはずである。

山里の知恵は、そんな人間らしさを取り戻すきっかけになる。彼女を見てみると、そんなことを確信できた。



聞き書きの様子



恵那・山里の聞き書き



奥矢作聞き書き



篠島聞き書き